



第59回総会(紙面総会)における 議決結果報告

幹事長 関 博明(72期)

2020年6月27日(土)に如水会館(千代田区一ツ橋)で開催を予定しておりました関東同窓会第59回定期総会は、新型コロナウイルス感染症拡大の非常事態を受けまして、会員の皆様の生命や健康を危険にさらすことを避けるため中止といたしました。

議決の結果をまとめましたので、以下ご報告いたします。第1号議案から第6号議案の全てが、全員賛成で可決承認されました。

【会報送付(対象)者】 5,021名
【回答者】 358名

【各議案採決状況】
第1号議案 賛成 358、反対 0
第2号議案 賛成 358、反対 0
第3号議案 賛成 358、反対 0
第4号議案 賛成 358、反対 0
第5号議案 賛成 358、反対 0
第6号議案 賛成 358、反対 0
新役員の選出 賛成 358、反対 0

期代表幹事一覧 (2020年10月15日現在)

期	氏名	期	氏名
43	佐々木 三夫	75	一之瀬 康利
45	山邊 力	75	大工原 潤
46	丸山 浩一	75	平林 一央
50	五十嵐 明迪	76	永島 精二
50	児玉 忠雄	76	鴫澤 省一
52	柴田 正人	76	金井 一正
53	須田 武久	77	丸山 剛生
54	倉島 彰	77	佐藤一男
54	藤村 延魚	78	渡邊 博
55	宮島 光男	79	荻原 貴
56	小平 節夫	79	戸田 由香
57	田沢 雄二郎	80	會田 信子
58	北村 尚巳	80	長谷川 剛
59	有賀 勝雄	80	櫻井 規喜
59	櫻井 資悦	81	服部 みどり
60	鷹野 芳機	81	毛利 元晶
61	三井 文人	81	横関 正人
61	杵掛 忠	82	重藤 和夫
62	岩井 重一	82	清水 るりこ
62	栗山 正雄	82	古谷 由美子
62	秋田 勇	83	五十嵐 恵子
63	川村 恭司	83	尾添 静子
63	大塚 和弘	83	竹内 延彦
63	藤川 昇	84	長尾 健
64	小松 正佳	85	小須田 武志
64	村居 次雄	86	吉池 有司
65	上原 昇	87	永井 博
65	丸山 暢久	87	西澤 信司
65	宮原 豊	88	高星 音楽
66	大倉 洋一	88	戸堀 真澄
66	塩野崎 英二	89	小林 幸治
66	田口 博	92	小山 勇
67	渡邊 信幸	95	小宮山 和匡
68	土屋 耕太郎	97	依田 久美子
69	小泉 薫	97	石森 博行
69	三塚 隆	98	宮沢 征史郎
69	依田 隆文	99	中嶋 豪
70	丸山 清光	99	矢島 好太郎
70	佐藤 秀紀	99	永井 洋平
71	小林 清隆	100	矢島 志織
72	関 博明	103	大谷 真宙
72	関 雄二	103	竹村 淳一
72	渡邊 温子	104	有賀 創
73	掛川 治男	104	石川 翔太
74	土屋 三千夫	104	高山 大蔵
74	林 幸平		

相談役		顧問	
期	氏名	期	氏名
50	甕 滋	60	鷹野 芳機
54	石井 光春	61	笠井 徳爾
54	前田 喜美子	62	栗山 正雄
60	白井 透	63	藤川 昇
61	滝澤 進	64	小松 正佳
62	高梨 奉男	65	丸山 暢久
65	上原 昇	67	水島 良子

同窓会で癒しを

関東同窓会会長 近藤 正昭(69期)



関東同窓会 第20代会長に就任して、はや半年が経過しています。新しい生活様式が求められる中、会員の皆様には同窓会の中で癒しを持っていただければ幸いです。新企画や会報の内容を充実させ、ホームページでホットな情報を提供していきます。

ました。たくさんの方の母校への熱い想いを実感しております。新型コロナウイルスで逼塞する中、オンラインリモートも併用しながら、打ち合わせ、会議を開催してきました。従来の委員会制度を尊重しながら、新設を含め、目的に合わせながら、新設を含め、目的に合わせながら、新しいチームがスタートします。



新役員の紹介と役割分担



倉沢裕 (69期)
①副会長 ②会員増強促進・委員長、広告・委員長 ③ギター・マンドリン班 ④塩田中 ⑤温泉巡り ⑥同窓会はリタイア後の参加が多いが、現役時代から参加してもらえよう魅力ある同窓会作りを目指したい。



古畑克巳 (69期)
①副会長 ②会員交流・委員長 ③郷土班 ④坂城中 ⑤ゴルフ・絵画・読書(推理小説) ⑥従来の会員交流委員会は同好会が中心でしたが、今から「各種イベントの開催」を加えます。



小林秀一 (71期)
①副会長 ②財政健全化・委員長 ③野球班・排球班 ④望月中 ⑤適正飲酒 ⑥若い人たちが参加しなくなる魅力ある同窓会になれるよう頑張ります。



橋詰富博 (73期)
①副会長 ②IT推進・委員長 ③物理班 ④依田窪南部中 ⑤フットサル、ゴルフ他 ⑥同郷の皆で

楽しむ同窓会にするためのお手伝いをしたい。



関博明 (72期)
①幹事長 ②会務運営・委員長 ③籠球班 ④二中 ⑤映画鑑賞、美酒佳肴を楽しむこと ⑥令和元年の総会で承認されましたので、継続役員となります。新役員の牽引役となり、同窓会の発展に務めます。



関雄二 (72期)
①会計長 ②財政健全化 ③水泳班 ④丸子北中 ⑤ゴルフ(今はもっぱらテレビ観戦) ⑥経験不足が不安ですが会員の皆様のご理解とご支援を頂戴しながら会務を務めていきたいと思います。



萩原貴 (79期)
①編集長 ②会報・委員長、会員交流 ③軟式テニス班 ④三中 ⑤東京六大学野球の応援 ⑥一人でも多くの皆様に興味を持っていただける内容の会報となるように頑張ります。

	青沼泉 (72期) ①副幹事長 ②女性同窓生交流・委員長、会務運営 ③ギター・マンドリン班 ④一中 ⑤マンドリン
	掛川治男 (73期) ①副幹事長 ②会員増強促進 ③帰宅班 ④長野市立柳町中 ⑤硬式テニス
	石坂敦子 (73期) ①副幹事長 ②女性同窓生交流 ③なし ④小諸市立芦原中 ⑤パン作り
	萩原久俊 (74期) ①副幹事長 ②広告 ③バドミントン班 ④東部中 ⑤読書
	平林一央 (75期) ①副幹事長 ②会務運営 ③山岳班 ④二中 ⑤テニス(上達せず)、犬の散歩(言うこと聞かず)
	鶴沢省一 (76期) ①副幹事長 ②会員増強促進 ③社会科学研究班 ④三中 ⑤ランニング、ゴルフ
	渡邊博 (78期) ①副幹事長 ②会員交流 ③ハンドボール班 ④二中 ⑤演劇(出演)、ハンドボール(現役)
	西澤澄雄 (79期) ①副幹事長 ②会報 ③吹奏楽班 ④坂城中 ⑤読書、執筆
	石黒久仁子 (80期) ①副幹事長 ②会報、女性同窓生交流 ③硬式テニス班 ④丸子中 ⑤硬式テニス

	櫻井規喜 (80期) ①副幹事長 ②広告 ③ハンドボール班 ④一中 ⑤海外放浪、城巡り、演劇・映画鑑賞
	四方ゆかり (81期) ①副幹事長 ②女性同窓生交流 ③卓球班 ④三中 ⑤サイクリング、バイオリン
	横関正人 (81期) ①副幹事長 ②会員増強促進 ③剣道班 ④一中 ⑤キャンプ
	重藤知夫 (82期) ①副幹事長 ②IT推進 ③放送班 ④三中 ⑤エスperant
	古谷由美子 (82期) ①副幹事長 ②IT推進、女性同窓生交流 ③吹奏楽班 ④三中 ⑤ヨガ、晩酌
	佐藤一男 (77期) ①副会計長 ②財政健全化 ③バレー班 ④二中 ⑤読書、旅行、トレーニング
	原田義則 (65期) ①監事 ② — ③図書委員長 ④東部中 ⑤テニス、鉄道模型制作、囲碁、園芸
	堤達 (67期) ①監事 ② — ③社会科学研究班 ④浅間中 ⑤読書一般、ギター

【①役職 ②担当の委員会 ③高校時代の所属班等 ④出身中学 ⑤趣味 ⑥抱負】

120周年記念事業

『お堀の環境改善工事』について
上田高校同窓会事務局長 倉澤克彦(73期)

上田高校創立120周年記念事業では、大勢の関東同窓会会員の皆様から多大なるご尽力を賜り、予定されていた事業を滞りなく進めることができました。皆様のご協力で心より厚く御礼申しあげます。

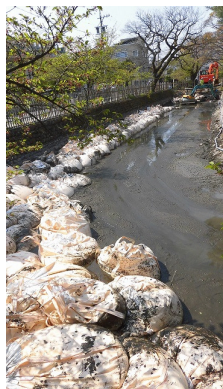
母校の創立120周年記念事業の立案にあたり、同窓会と学校で事業案を検討致しました。温暖化対策の空調設備導入が大きな項目でしたが、喫緊の課題として「お堀の環境改善」があげられました。数年前に水源井ポンプが故障し、給水が雨水だけとなり水量が



浚渫前。汚泥がおよそ現在の水面の高さまで堆積していました。(2019年5月)

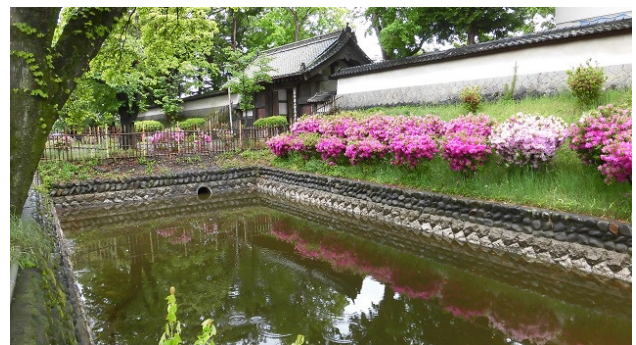
大幅に減少しました。一方で、お堀の南側からの漏水と落ち葉の堆積で、晴天が続くと干上がった状態となり、悪臭や蚊の発生などで、観光客や近隣の方からの苦情が学校に寄せられておりました。以前から同窓会では上田高校と一緒に、上田市や県に改善の陳情を繰り返してきましたが、予算不足などで改善は進みませんでした。また、今回の記念事業にお堀の改修工事を入れたことに対し、多くの同窓会会員、役員から「県の所有物であるお堀の改修に、同窓会がなぜ費用を負担するのか」との疑問の声をいただきました。同窓会としては学校の要望もあり、「お堀の現状は極めて深刻であり、これ以上は放置できない」と判断して120周年記念事業の一環として取り組むこととし、2019年5月の定時総会にて決定しました。

一昨年11月下旬、24か所のボーリングを行い、コンクリートを流し込んで土中に擁壁を作る漏水防止工事と水源井ポンプの交換工事が開始され、12月下旬に完了しました。昨年2月、排水が進みお堀の浚渫が開始されました。汚泥の浚渫は困難を極めました。最終的には、汚泥をトンバッグ(大きな土嚢)に詰め水分が抜けたら搬出するという、人手は要するが環境に優しい工法で切り抜けました。工事終了後、新設となったポンプで24時間給水し、6月にはお堀はオーバーフロー水位まで上昇しました。お堀自体がゆるやかな流水路となって浄化が一段と進み、場所によっては底が見えるほど浄化されました。往時の景観を取り戻したお堀に、地域の方から「何年かぶりに水が溜まっているお堀を見ましたが、本当にお堀らしくいいですね」という声が聞かれました。



厳寒の中、トンバッグ(大型土嚢)500袋以上を使い、周りを汚染させぬよう汚泥の水分をしっかりと抜いた上で搬出。

「古城の門」も近い将来に大きな改修が必要となる可能性が高まっています。その際、学校から今回のような改修の要請があっても、残念ながら同窓会だけで対応することは、費用だけでなく、専門知識の観点からも不可能です。そこで120周年記念事業を推進する中、長期的視点に立って文化遺産を次代に引き継げるよう、長野県、上田市、学校の三者が共同で



浚渫後、往時の面影を取り戻したお堀(2020年5月)

保全の体制を構築していただくことを関係機関にお願いしてきました。その結果、昨年3月23日に上田高校敷地内の歴史的遺産の維持・管理について、長野県・上田市・上田高校の担当者による意見交換会が開かれ、課題解決に向けて大きな一歩が踏み出されました。多くの皆様のご支援ご協力の賜物だと感謝申し上げます。関東同窓会会員の皆様には今回の経緯をご承知おきいただき、今後も「古城の門」を含む歴史遺産の保全にご理解とご協力をお願い致します。

櫻田法律
事務所

弁護士 櫻田 喜貢穂 (65期)
弁護士 今井 亮 (野沢北高校)

〒102-0092
千代田区隼町2-17 パレスナイド千代田3F
Tel. 03-3512-3562 Fax. 03-3512-3563
E-mail: sakura@sakurada-jimusho.com



同好会活動報告

やまびこ句会 「秋の空」

澄みきつた秋空を表す「秋の空」という季語があります。この季語

には、本来の意味とは別に、ひとが割り切れない残念な気持ちを抱いて、思わず天を仰いだとき、あきらめにも似た「哀感」を吸い込んでくれる「秋の空」がそこにはあったというような場合にも使えるのかと思います。

「秋の空」を詠み込んだ句がありました。昭和31年の巨人―南海の日本シリーズで円城寺球審が南海の投手スタンカの投球を「ボー

ル」と判定し、この判定が分岐点となりこのシリーズは巨人が制しました。そのときのある南海ファンの無念の一句が

「円城寺あれがボールか秋の空」でした。

翌、昭和32年には上田松尾高校が甲子園に初出場し、前年度優勝校の平安高校を破りベスト8に進出して大活躍の年でした。ラジオに張り付いて応援したものです。

この年、甲子園が終わってしばらくして、父親に連れられ、神宮球場へ秋の早慶戦を見に行きました。試合終了後、閉会式があり、優勝校の立教を先頭に選手がダイヤモンドを1周しました。

やまびこ句会 (4月〜9月)

- 鎌倉に友を訪ぬる秋暑かな (隆治)
- コロナ禍の街静まりて梅雨に入る (平八)
- 命日を感じる日とす沙羅の花 (一江)
- 巣ごもりの夕餉に添へる弾き豆 (貴美)
- 苔の花鳥居畔に碑の数多 (清助)
- 黒出目金大関を張る展示場 (正雄)
- 朝顔や一人暮らしの米をとぐ (茉紗)
- 田植え待つ柵田は空の青映す (奉男)
- バラを剪る鉢かすめて揚羽蝶 (孝昭)
- 薬師寺の修理落成柿の秋 (正佳)
- 露草や明治に建てし祖母の家 (前歩)

第33回ゴルフコンペ 希望者によりフレイのみで開催

開花が例年になく早かった桜もその後の降雪などにより4月まで咲き残り、2020年4月3日(金)桜は満開、快晴微風のもと第33回ゴルフコンペが開催された。

折からのコロナウイルス禍により、中止も検討されたが、参加予定者に意向を再確認し、懇親会なしの屋外フレイのみとし、希望者11名で小規模開催することとなった。

結果は、グロス87(ハンデ18) ネット69で依田欣五郎さん(62期)が優勝した。ハンデはカットなしで次回に持ち越される。参加者からは、外出しにくい中で実

赤松小三郎研究会

当研究会においても、コロナ禍の影響で偶数月開催の例会は4月以降年内一杯中止となった。また、9月12日(土)に予定されていた安藤優一郎氏の講演会は令和3年に延期になった。

★トピックス

この度、赤松小三郎の「測量術

業CCで開催済み、35回は4月2日同じく千葉CCで開催予定) 幹事 近藤 正昭(69期)



千葉CCにて

絵画同好会

昨年の第3回展覧会は、新たなメンバーも加わり開催する予定でしたが、コロナ禍の影響を受け残念ながら中止いたしました。今年

女性同窓生の会より

新役員で活動を始めます。よろしくお願いいたします。

再延期となった女性同窓生の会は、令和3年10月24日(日)に開催することとなりました。ヴァイオリンの歴史・音色そして骨董的価値を、モスクワ音楽院出身の小泉悠斗様が楽器を弾き比べながら語ります。ぜひご予約下さい！

詳しいご案内は9月頃させていただきます。

新委員長 青沼 泉(72期)

実行委員会 佐伯謹吾(63期)

k_saeiki@tea.ocn.ne.jp

の直筆の写本」と共に、小三郎が所有していた江戸時代の「測量器具一式」が見つかり、赤松小三郎研究会の有志がカ

ンパを集め買い取った。現在のトランシットに相当する精巧な測量器具もあり、



赤松が所有していた測量器具と直筆写本

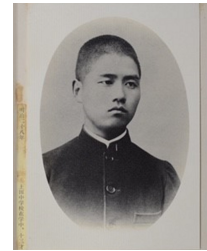
江戸時代の国産品とは思えない技術の品も含まれている。すでに現物は上田市立博物館に搬入されており、来年度中に正式に寄託し、展示できればと考えている。

関 良基(86期)

「五島慶太未来創造館」 青木村に開館

青木村役場商工観光移住課 中沢道彦(82期)

青木村出身で東急グループの創始者である五島慶太（1882～1959）の功績を学ぶとともに、人材育成や交流人口拡大に向けた「学習と交流の起点」施設として、



上田 中学時代の小林（五島）慶太

五島慶太未来創造館が2020年4月18日、青木村に開館しました。五島慶太（旧姓小林）は青木尋常小学校、浦里小学校高等科、長野県尋常中学校上田支校（以下、上田中学）、松本中学校を卒業後、青木小学校代用教員を経て、東京高等師範学校、東京帝国大学を卒業。卒業後は官吏として鉄道院で

店、公園、文化施設などを開発し、大学などの学校誘致を進め、東急沿線は首都圏を代表する文化教育都市に発展しました。また、学校経営を行った教育者、書や古美術に造詣の深い文化人としても知られています。郷土を愛し、1918年の千曲寮の設立にも関わりました。

全国私鉄の監督を行い、上田電鉄の前身となる上田温泉電軌の設立も支援しました。38歳で退職して民間に転じ、1922年東急電鉄の前身となる目黒蒲田電鉄を設立、1942年に東京急行電鉄取締役に就任、今日の東急グループの礎を築きました。鉄道事業では、沿線に住宅や百貨

来大臣になる夢は、戦時下の1944年に東條内閣の運輸通信大臣に就任したことで叶いました。当館は、外観は慶太生家を模し、屋外に東急電鉄で大きく昭和初期に使用された電車車両の車輪を展示、一部に生家の木材を使用した館内では、



五島慶太未来創造館

毎日、家から中学まで片道12キロの道を2時間かけて歩いて通ったそうですが、このときに抱いた将来大臣になる夢は、戦時下の1944年に東條内閣の運輸通信大臣に就任したことで叶いました。当館は、外観は慶太生家を模し、屋外に東急電鉄で大きく昭和初期に使用された電車車両の車輪を展示、一部に生家の木材を使用した館内では、

慶太ゆかりの品を展示しています。かつて生家からは夜遅くまで慶太少年のリーディングの音が聞こえてきたそうですが、当時の英語の教科書や、本人の書き込みやイラストが残された徒然草など、上田中学時代の史料も展示しています。また、一昨年落雷で焼失した慶太生家の復元映像、五島美術館提供の国宝源氏物語絵巻4K映像なども楽しめます。

筆者は2019年から県の派遣で青木村に勤務し、幸運にも当館の設立に携わりました。当館へ同窓生の皆様にお越しいただくことを期待しております。

信州上田ふるさと先人館 上田市に開館

昨年亡くなられた丸山瑛一さん（51期）も建設を提唱されていた先人館が、令和2年6月、上小教



館内、展示の様子

育会館旧館（上田市大手）の1階に開館した。幕末から現代にかけて活躍された故人で上田市ゆかりの偉人の生涯と業績を紹介している。現在は、赤松小三郎や山極勝三郎を始めとする約50人の紹介文と写真を、A1版サイズの木製パネル（額）に掲載している。今後は展示する故人の追加や紹介方法の工夫をしていく予定とのこと。多くの市民や観光客の皆様、特に子どもたちに上田の歴史や先人・偉人の業績を知ってもらえる重要な文化施設の誕生であり、皆様も上田にお越しの際は是非立ち寄りください。（入館無料）

新千代田総合法律事務所

日本弁護士連合会元会長

弁護士 村越 進 (67期)

東京都千代田区神田神保町2丁目3番1号
 岩波書店アネックス8階 〒101-0051
 電話 03-3239-5360 Fax 03-3239-5361
<http://www.shin-chiyoda.jp/>

新たな教育システムの創造 松実学園グループ

初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

(社) 松実教育総合研究所

教育相談・教員養成講座・教育制度の研究・教養文化講演会
 教育シンポジウム等を実践しています。

まつみごうとうがくえん

松実高等学園

本校 埼玉県春日部市中央1-5-15
<http://www.matsumi-gakuen.net>

理事長 松井 石根 (60期) 学園長 松井 寛 総務部長 松井 豊



上田高校で課題研究入門講座

初のZOOM開催、卒業生が専門分野で講義

各界で活躍中の卒業生が講師となり専門分野について話す「課題研究入門講座」が、8月28日に母校で開かれた。コロナ禍の中、全講座がリモートで行われた。講師を務めた方の報告を紹介する。



「弁護士や裁判官の仕事はなぜ楽しいか」山浦善樹(63期)

米国では10代で医師や弁護士になると決めると決めた。人生百年、まだ人生の幕も開いていない若い君たちは成績、大

直すという。私も就職した銀行に挫折したことが「法という武器を持たない市民のため身を粉にして働く」という生涯をかける価値のある職業を見つめる契機となった。人生百年、まだ人生の幕も開いていない若い君たちは成績、大

「歴史研究への道案内」



小川原正道(93期)

文部科学省のW
WL(ワ
ールド・
ワイド・

「課題研究」に取り組む生徒たちに向け、学問研究への道案内をする

とともに、「キャリア学習」に資するような話を、ということ

講演させていただいた。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、オンラインによる講座という異例の形式となったが、多くの生徒たち

が集まってくれた。慶應義塾大学法学部で日本政治思想史を教えている私は、福沢諭吉と板垣退助の政治思想、政治運動を紹介し、彼らが近代日本の建設に関わり、その遺産が、現在の私たちにどんなメッセージを残しているかについて解説した。歴史というのは暗記科目で、年表と用語の羅列のように思っている生徒たちが多く中で、近代の政治思想や政治運動が、現代の投票行動や地方自治への関わり方などに、重要な指針を示しているこ

学、就職などという近視眼的で類型にはめ込まれる生き方ではなく、悲しみ、悔しさ、美しさなど人の営みの多様さを感じることでできる年齢になればきつと自分に合った生涯をかけても悔いのない楽しい仕事・生き方を見つめることができるのではないか。

講義後、就職目的で大学を考えるのではなく自分に相応しい人生を選びたい、人々のために何ができるか考えることのできる生き方をしたという趣旨の感想文を読むと、彼らは紛れもなく後輩の上田高校生だった。

2020年度 課題研究入門講座 講師一覧

歴史アート	小川原正道(93期)	平和貧困国際協力	遠山里菜(筑波大4年)
国際政治	村上勇介(80期)	医療①	大井貴博(99期)
人権・ジェンダー	山浦善樹(63期)	医療②	清水亜矢子(87期)
地方創生	武田公子(76期)	テクノロジー①	菅沼雅徳(108期)
子ども・スポーツ	島田英昭(93期)	テクノロジー②	水野幸治(95期)
ビジネス・都市①	荻原 靖(74期)	情報	小宮山功一郎(95期)
ビジネス・都市②	堤 宏記(79期)	理学	松原隆彦(83期)

とは、新鮮に映ったようである。

また、学者という職業をなぜ私自身が選択し、大学院や海外留学などを経ながら、どのようにキャリアを構築してきたのかについて、参考までにお話しました。コロナ禍という現状のなかで、グローバルな視野の獲得のため、インターネットを活用して、どのような国際交流を展開できるのか、その展望も示した。

今後、生徒たちが「課題研究」を進め、それぞれのキャリアの構築をしていく上で、少しでも役立つことができたなら、幸いである。

IT技術者募集中

システム技研株式会社

代表取締役 北浦 弘之 顧問 清水 通男 (66期)

〒169-0075 新宿区高田馬場1-34-1サンフジビル5F
TEL 03(5272)8830 FAX 03(5272)8836
URL <https://www.s-giken.com>

「これまで多くの人々に支えられて生きてきた」という私の講演を聞いた生徒から「自分の事だけでなく周囲の人々のため何ができるかということを考えて生きていきたい」という感想が寄せられた。上田高校の伝統はしっかり生きています。

〒101-0052
千代田区神田小川町1丁目1番地
山基ビル8階 山浦法律事務所

弁護士 山浦善樹 (63期)

TEL 03-5244-5372 yamax@nn.ij4u.or.jp

上田ゆかりの偉人

今回は、今年夏に開催予定の東京オリンピックに因んだ二人を紹介する。二人とも上田染谷丘高校の卒業生で、それぞれ出場したオリンピックではメダルこそ逃したが、長野県出身の女子陸上選手で入賞しているのはこの二人のみである。

眞保正子

1932年ロス五輪・
槍投げ4位入賞に輝く！



大正2年
(1913)
上田市新田
出身。子ども
もの頃から
体格に恵まれスポーツも得意だった。

母の助言で上田高等女学校(現・上田染谷丘高校)に進学し、姉と同じ陸上に入った。3年間練習に明け暮れ、卒業までプリンターとして活躍した。

昭和5年(1930)日本女子体育専門学校(現・日本女子体育大学)へ入学。入学後はしばらく伸び悩んでいたが、小学校時代の恩師寺島先生から「投擲(とうてき)への変更」を助言され、槍投げに転向した。その後の懸命な練習が実り、昭和6年(1931)全日本陸上競技選手権大会では憧れの人見絹枝選手の持つ槍投げ日

本記録を更新した。

昭和7年(1932)ロサンゼルス五輪大会で女子槍投げに出場し、メダルにはわずかに届かなかったが、39m07cmの日本記録で堂々の4位に入賞した。



その後は、スポーツの指導者として主に大阪を舞台に活躍。昭和39年東京五輪では役員を務め、昭和53年長野県開催のやまびこ国体では、槍投げ入賞者への賞状授与者などを務めた。昭和60年には体育界への長年の功績により勲五等宝冠章を受賞した。

依田郁子

1964年東京五輪・
80mハードル5位入賞！



昭和13年
(1938)
丸子町(現・
上田市)出身。子ども

の頃から運動が大好きで、中学校時代は上小体育大会の100m走で2年、3年とも優勝している。高校は上田染谷丘高校に進学し、陸上に入った。そこで80m

時の陸上顧問の土屋篤さんだった。土屋さんのご息女である青沼

泉さん(関東同窓会副幹事長・72期)によると、土屋さんは「80mハードルは選手層が薄いから、うまくいけばインターハイに出られるかもしれないと思ってやらせてみた」と当時を語ったという。その後は2年、3年とインターハイに出場し、2回とも優勝している。また、卒業後の進路をリッカーミシンへ導いたのも土屋さんであった。当時のリッカーミシンには、1932年ロス五輪の男子100mで6位に入賞した「暁の超特急」吉岡隆徳監督がいた。

昭和33年(1958)リッカーミシン陸上競技部に入った郁子は、吉岡監督の指導の下で時間の全てを体作りと記録向上に費やした。そして、たびたび日本記録を更新し、ついに昭和39年(1964)念願の東京五輪大会女子80mハードルに出場した。郁子は日本の五輪史上で陸上女子短距離種目としては初めて決勝に進出し、10秒7の好記録で5位入賞を果たした。

昭和40年(1965)郁子は高校の教師をしていた宮丸凱史さんと結婚し、その後は夫と共に東京女子体育大学で学生を指導したり、市民体操教室の講師を務めたりした。

最後に、郁子夫妻から直接指導

を受けた近藤正昭さん(関東同窓

会会長・69期)のエピソードを紹介する。近藤さんは「陸上現役だった昭和45年(1970)、上田陸上競技場で市内の陸上合同練習会に参加した時、私が走高跳とハードルを主種目にしていただけから、上田染谷丘高校の陸上監督さんの配慮で、走高跳選手であったご主人と郁子さんのお二人から指導を受けることができた。郁子さんのスプリント力には驚かされた記憶がある。今から思えば何とも貴重な体験だった」と語ってくれた。(参考文献:「ふるさと上田人物伝」上田市教育委員会、写真は上田市教育委員会の転載許可済み)

労務管理で経営をサポート

高橋社会保険労務士事務所
社会保険労務士 高橋 武義 (68期)

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡 3757-6
TEL049-236-3856 FAX049-277-5389
Email : info@takahashi-sr.biz
http://www.takahashi-sr.biz

アクト法律事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂3丁目9番18号
赤坂見附 KITAYAMA ビル3階
TEL : 03-5570-5671 (代表)
FAX : 03-5570-5674
【最寄りの交通機関】
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士(所長) 岩井 重一(62期)
弁護士 安田 隆彦
弁護士 平澤 慎一
弁護士 波戸岡 光太
社会保険労務士 岩井 信也



「WWL」が始動しました!

WWL推進係 白鳥敏秀

6月発行の前号にも速報として記載しましたが、新年度を迎えて間もなく、文部科学省は令和2年度WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業における「カリキュラム開発拠点校」12校を発表し、その中にわが上田高等学校が含まれました。

その事業内容を要約すれば、昨年度までの5年間に実施されたSGH（スーパーグローバルハイスクール）事業を継承し、世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材の育成を目指すとともに、県内外の高校や台湾の高校、大学や企業、行政機関などと協力して先進的学びのネットワークを構築するもの（下図参照）です。

上田高校 NOW

これまで取り組んできた探究的な学びや、校内外での諸活動はほぼ継続され、それを推進するための予算も確保できました。さりとてコロナ禍の中、教育活動もなかなか思うようには参りません。6月13日には1年間の最大行事の1つであり、毎年県内外から多くの生徒が集う課題研究発表大会「北陸新幹線サミット」を開



オンラインによるWWL「北陸新幹線サミット」の様子

催せねばなりませんでした。そのような状況下で、中核になるグローバルスタディⅢ選択者十数名が、オンライン会議で準備を重ね、通常登校開始後2週間にし、この行事のオンライン開催にこぎ着けました。本校を含む7校の代表が計9本のプレゼンを行い、東は東京、西は石川まで、十数校の延べ50余名の高校生が参加するところとなりました（写真参照）。コロナ流行の試練を奇貨として、新たな教育活動の創造に向け、今後も努力する所存です。9月恒例の2学年首都圏フィールドワークもコロナ禍で実施できませんでしたが、同窓会報でOB、OGの皆様に、生徒の課題研究への指導を呼びかけたところ、多くの方が手を挙げてくださいました。改めて諸般にわたる同窓生

の皆様のご支援に感謝を申しあげます。

先進的な学びのネットワークの組織概要			
管理機関	・長野県教育委員会（学びの改革支援課）		
事業拠点校	・上田高校	共同実施校	・松本県ヶ丘高校
事業連携校	・長野高校・篠ノ井高校・屋代高校・上田染谷丘高校 ・野沢北高校・伊那北高校・飯田高校・松本深志高校 ・長野西高校・私立延平高級中学（台湾） ・国立苗栗高級中学（台湾）・国立新竹女子高級中学（台湾） ・国立科学工業園区実験高級中学（台湾）		
事業協働機関	・(株) KDDI・一般財団法人日本国際協力センター (JICE) ・台湾高雄市政府教育局・ミネルバ大学・長野県知事部局各課 ・長野県高大連携プラットフォーム（県内大学との連携） ・信州SDGsプラットフォーム(SDGsを推進する県内諸企業) ・東京外国語大学、JICA、佐久総合病院 等		

変革の年に

松尾祭実行委員長 甘利志樹

2020年、この年を形容するに相応しい言葉に何を挙げますか。『混乱、災厄』。今年度の松尾祭に限って言えば、開祭を断念、中止。毎年秋に行われる「松尾祭運動の部（体育祭）」に、少しの松尾祭行事（花火など）を加えました。

結論から言うと、私は今年を『変革』の年とします。継承の破壊ではありません。過去はすべて現在や未来を生きるための「布石」。大きな流れが止まってしま

ったように見えても、今年はより良くなり続けるための流れの一部、そうあってほしいのです。

私が信頼を寄せる方が来期の実行委員長に就任しました。彼女の『色』のた松尾祭はきつと63年分以上のものになるはず。皆さん来年度こそお越しく下さい。

コロナ禍での新聞発行

新聞班班長 塩川悠太

コロナによる影響を受け、多くの高校生が悲しく、悔しい想いを抱いた夏。新聞班にできることは、少しでも多くの生徒の生の声を届けることでした。たとえそれが多くの予想、期待する言葉でなかったとしても、必ず誰かにとってはこの先を生きる希望になるはず、そう信じて。社会の移り変わりによって発行日は二転三転し、取材や記事の添削にも莫大な時間を費やすなど、新聞発行はなかなか簡単ではありませんでした。しかし夏休み明けに無事に上田高校新聞253号を発行でき、多くの先生・生徒から感想をいただき、改めて新聞班としての活動の意味が解った気がします。

また台風の特集を組んだ251号以降、同窓会の皆様からもたくさんのお言葉をいただき、嬉しい限りです。今後も応援よろしく願います。

Outsourcingの知識集団
株式会社 fellow
 取締役社長 古畑克巳 (69期)
 (公認会計士)
 東京都千代田区内神田 1-18-11 東京ロイヤルプラザ 1109号
 TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005
<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

土屋法律事務所
 東京都港区虎ノ門1丁目1番15号
 三田ビル3階 (〒105-0001)
 TEL 03-3580-8588
 FAX 03-3539-7057
 弁護士 土屋耕太郎 (68期)

上田高校 NOW

**今の状況に負けず、
精一杯生きる！**

1学年担当 竹内光礼

4月からの2か月間は、オンライン授業、6月からの4か月間は、マスクと消毒液、こんな表現と共に過ごしてきた生徒たちは冷静に時間と戦ってきています。生徒は言います。「密を避ける、マスクを付ける、レベルは〇だ、感染者〇人、など馴染みのフレーズが世の中に溢れているけれど、私たちは頑張つて明るく、元気に対応してきたよね。」確かに、

このまま行くと、私たちの学年は昨年度実施した菅平での学習合宿が唯一の宿泊行事になってしまいました。それだけは回避したいと、この間、係の藤沢先生が中心となつて、日々心を砕いていただいているのですが、未だに代替行事の具体化が出来ない状況です。そんな中、ヴァーチャルではありませんが、リモートでの代替行事は係の先生の尽力で実施されており、さすが高校生のそれらへの適応力はすばらしく、先日行われた大学生の団体とのディスカッションなども実りあるものとなりました。しばらくはこうした状況が続きそうですので、私も遅れない



リモートでの大学生との交流会

四月からの2か月月の授業、松尾祭、首都圏フィールドワーク、そして台湾研修旅行が消え……、休校で失った授業を回復すべく夏期休業も短縮され、本来の教育活動とは大きく異なる日々を送っております。

中でも、宿泊を伴う行事に関しては、最も実現が難しい状況が続いており、

このまま行くと、私たちの学年は昨年度実施した菅平での学習合宿が唯一の宿泊行事になってしまいました。それだけは回避したいと、この間、係の藤沢先生が中心となつて、日々心を砕いていただいているのですが、未だに代替行事の具体化が出来ない状況です。そんな中、ヴァーチャルではありませんが、リモートでの代替行事は係の先生の尽力で実施されており、さすが高校生のそれらへの適応力はすばらしく、先日行われた大学生の団体とのディスカッションなども実りあるものとなりました。しばらくはこうした状況が続きそうですので、私も遅れない



生徒生活体験発表の様子

時制の生徒全員が自分の体験を作文にし、クラスの中から選ばれた生徒達がその体験を発表しました。生徒達はwithコロナの生活が身につけており、全員がマスクの着用、手指の消毒をしていたのはもちろん、会場に入ってから私語が少なく、感染症に配慮して行動していました。

発表してくれた生徒達は皆堂々としていて、発表の内容も良く、自分の体験した挑戦や苦悩、自分の変化などを赤裸々に語っており、大変感動的なものでした。



県内フィールドワーク JICA 国際協力機構

化祭新企画、県内フィールドワークなどの行事も条付きで実施できてきています。生徒の顔には次第に活

今年3年生も今までの先輩方のように、休み時間は参考書を聞き、放課後の補習に参加し、帰宅ぎりぎりまで勉強している姿が見受けられます。先日、松尾祭の運動の部がありました。日頃の授業風景とは違っ

**残り的高校生活を悔いの無いように！
3学年担当 山田純子**



松尾祭運動の部

を感じました。

新型コロナウイルスの影響で、休講期間中は課題に取り組み、自主的に目標を定め学習していたようです。それと同時に、教室で、席を並べて共に学び合う仲間のありがたさを感じたと思います。昨年

は英語外部検定試験活用方針に振り回され、今年は新型コロナウイルスと、もう何が来ても大丈夫……と思っていたところですが、そこはやはり、初めての大学受験。希望と不安でいっぱいだと思います。これからは進路指導も大詰めを迎えます。一人一人の生徒の気持ちに寄り添いながら、残りの高校生活を悔いの無いように送れるよう支援していきたいと思っています。

eclat 税理士法人 エクラコンサルティング
株式会社 エクラコンサルティング

資産税プロ集団 お客様の事業承継を成功へ導く

代表社員 税理士 田中 誠 (72期)

〒102-0094 千代田区紀尾井町4-1

ニューオータニガーデンコート8階

TEL: 03-6866-8800 FAX: 03-6866-8801

http://www.eclat-c.com/



上田高校 NOW

半年ぶりのステージ「合同定期演奏会」開催

吹奏楽班班長 石坂 梢



2020年合同定期演奏会

「第45回定期演奏会」の中止の中で提案されたのが「合同定期演奏会」の開催でした。休校明けの練習は不自由なことばかりでしたが、班員全員で協力し全力で駆け抜けて参りました。半年ぶりのステージの上は想像の何十倍もキラキラ輝いて、幸せで溢れていました。音楽の素晴らしさを改めて実感しました。大変な時もたくさんありました。が今振り返ると、こんな充実した日々は他にないのではないかなと思います。今回このような素晴らしい演奏会を開催でき

たことを本当にありがたく思っています。この演奏会にご尽力頂いた方々、日頃から上田高校吹奏楽班を応援してくださっている全ての皆さまに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

感謝の気持ちで班活動 剣道班副班長 井出凌平

剣道班は男子5人、女子4人と少人数の班活です。少人数で有りながらも、個々人が練習の目的を持ち、全体の目標「県大会ベスト4」に向けて練習に取り組み、若林先生、高柳先生、OBの方々、保護者に支えて頂きながら活動しています。さて、今年の主な活動は、大会に向けての練習はもろろんのこと、コロナウイルスが流行している中ででの活動です。剣道はマスク、フェイスシールドを付けての練習が義務づけられました。また、遠征、錬成会等のイベントが現在はほとんど行われていません。このような特別な状況の中にも剣道をする目的、目標を明確に見据え、感謝の気持ちを持ち、これからも頑張つて活動していきたいと思えます。

「高校野球」

野球班班長 米沢 康佑

沢山の方々の支援によって開催

された交流試合。そこで先輩方が引退され新チームになりましたが、一人一人の課題やチームとしての課題が山積みです。技術面の課題だけでなく、精神面や、一つの行動が遅いといった行動面など多岐に渡る課題があります。この課題を解決するために、自分だけで変化を納得するのではなく、周りの方に変化を認めてもらうことを常に意識して練習に取り組んでいます。指摘され続けているレベルの低い野球から脱却するために技術面・精神面・行動面でこれからは周囲に認められる変化を続け、レベルの高い野球・「高校野球」をプレーするために練習し続けます。

東京歴史散歩で 玉川上水散策

昨年の「江戸城36見附巡り」で東京・文京区の東京都水道歴史館を訪れた。江戸時代に多摩川の水を引き入れる苦勞を知り、羽村市の取水堰と玉川上水を散策した。

9月5日、青梅線・羽村駅に10人が集合。駅前の「まいまいず井戸」を見学。「大菩薩峠」作者の中里介山の墓に立ち寄り、取水堰近くの玉川水神社へ。幕府は上水管理のためここに陣屋を設置した。陣屋門が残っている。



64期歩く会 田村酒造場にて

取水堰から四ツ谷大木戸までの43km、標高差わずか約92m。玉川兄弟が請け負い、着工から8か月で完成させたという。上水路に沿った緑道を歩く。田村酒造場、趣のある建物群がある宿橋通りを通り、福生駅で打ち上げをした。磯村雄二(64期)

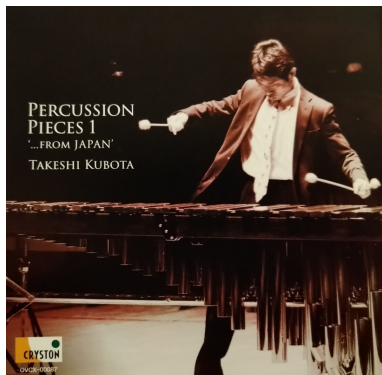
令和元年度文化庁 芸術祭優秀賞を受賞

窪田さんは現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団の打楽器の首席奏者を務める傍ら、ソリストとしても積極的



打楽器奏者 窪田健志さん(99期)!

に活動中。リサイタルが令和元年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞するなど高い評価を受けている。令和2年6月には初のソロ・デビューCDを発売。今後益々の活躍に目が離せない。※令和3年3月14日、東京・サントリーホールにて名古屋フィルの演奏会(ブラームス交響曲1・4番)があります。



「PERCUSSION PIECES 1 ... FROM JAPAN」(オクタヴァ・レコード、3,200円+税) 初のソロ・デビューCD。初録音5曲を含む打楽器の世界。マリナーの優しく繊細で美しい音色が心を癒やしてくれます♪

木目込雛人形製造創業
株式会社 一秀

代表取締役 木村 公平(63期)

T121UB15 東京都足立区烏板2-31-23
TEL 03-6880-1131
FAX 03-6880-1173

同窓生の新刊

この欄では同窓生の皆さんが最近上梓した本を掲載してきます。紹介したい図書がありましたら、左記のメールアドレスにご連絡ください。

荻原 貴 (79期)

osakajou@msn.com
(定価は外税)

「日本を開国させた男、松平忠固」

関 良基 (86期)

作品社 1800円

日本「開国」



を断行したのは、井伊直弼ではない。海外情勢を認識し、徳川斉昭や井伊と対立して開国・交易を推進、そして養蚕業の輸出の基盤を造った上田藩・老中松平忠固。その歴史的真相と実像を初めて明らかにする。日経新聞書評で★5「傑作」の評価を得た。

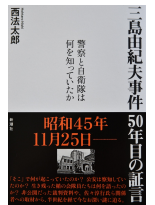
「三島由紀夫事件50年目の証言」

ペンネーム 西 法太郎

西沢 裕彦 (75期)

新潮社 1800円

三島由紀夫事件の日。そこで何



が起こっていたのか。公安は察知していたのか。生き

残った楯の会隊員は何を語ったのか。非公開だった裁判資料や、関係者への取材から、半世紀を経て今なお深い謎に迫る。

「なんとかせい！」

島岡御大の置き手紙

丸山清光 (70期)

文芸春秋企画出版 1800円



大学野球界の名物監督の指導下、元主将・エースは

何を汲み取ったか。野球、新聞、政治、映画、北海道へも応援歌を贈る迫真のノンフィクション。

下伊那出身の島岡吉郎、通称島岡御大(おんたい)は、明治大学

野球部を37年間率い、その間薫陶を受けた選手が総勢1777名、東京六大学リーグ優勝14回の大監督である。

著者の丸山清光(本校70期)

は、主将・エースとして同監督のもと、江川卓等のスター選手

を相手に1975年の東京六大学リーグ春秋連覇にチームを導いた。

「記紀神話伝承史」

柳沢 賢次 (65期)

東洋出版 1800円



『日本書紀』編纂より1300年。文字のない時代の

人々の伝統的思考(哲学)は「扁平三角形」に隠されている。祖先は何を考へ、どのように伝えたのか。その哲学を考える。

「安政五年、江戸パンデミック。」

ペンネーム 立川談慶

青木幸二 (82期)

ソニー・ミュージックエンタメント 1800円

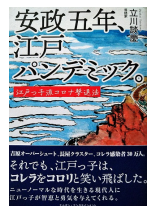
長屋クラスター、感染者30万人。それでも江戸っ子はコレラをコロリと笑い飛ばした。江戸っ子と令

た。当時の新聞で敵将が「心技体、すべてに彼はナンパーワンの主将だ」と讃えた島岡野球の体現者である。

島岡監督は、「ここは野球部の合宿所ではない。人間修養場だ」「人間力を磨け」と説いた

という。本書には、次代を担う若者にも役立つ恩師島岡御大の

銘言・面白エピソードが深い感謝の念とともに満載されている。



和現代人の共通点と相違点から「w i t h コロナな時代」を生きるための知恵とヒントを読み解く一冊。

「文系でもわかる」

日常の不思議を物理学で知る

松原 隆彦 (83期)

山と溪谷社 1400円



この本は数式を一切使わず、言葉だけで物理の原

理、世界の仕組みを説明する。物理学の二大理論、相対性理論、量子論は不可解なものであったとしても、難しいものではないことが容易に理解できるだろう。

土屋文男さん (69期)

日本調停協会連合会 理事長として活躍中

全国裁判所の調停委員の団体、公益財団法人日本調停協会連合会の理事長に、土屋文男弁護士(69期)が昨年6月に再任。全国組織のトップとして活躍中だ。

日調連は全国の地方裁判所、家庭裁判所、簡易裁判所に所属する



調停委員による各地方調停協会を構成。法曹界では以前、山浦善樹弁護士(63期)が最高裁判事を務め、村越進弁護士(67期)が日本弁護士連合会(日弁連)会長を務めており、上田高校OBの法曹界での活躍ぶりには目覚ましいものがある。

土屋綜合法律事務所

公益財団法人日本調停協会連合会 理事長
弁護士 土屋 文男 (69期)

〒102-0073
千代田区九段北1-3-3九段下東急スカイビル4階・8階
TEL: 03-3512-0211 FAX: 03-3512-0214



【新企画スタート！ 班OB・OG会の紹介】

第1回 陸上班〜関東陸文会

今でも高校時代の「班」を通じての繋がりは世代を超えて強いものがあると思います。今回から各班順番に関東中心のOB・OG会活動を紹介していきます。

「陸文会 並びに 関東陸文会」について

「陸文会(リクモンカイ)」とは、上田高校陸上班出身OB・OGが会員となり、現役生の陸上活動支援を主目的とした親睦会で、50期生以降の約350名の会員登録がある。年1回の年次総会や4か月に1回の幹事会を上田で開催し、また、年1度の「陸文会通信(6P)」の発刊などにより、少しでも現役生へのサポートや会員同士の親睦に役立つよう努力している。会長は当時100Mで県新記録(10秒8)を樹立した羽田健一郎(63期)



1964年：聖火スタート前の陸上、サッカー、柔道、卓球などの各班員〜上田地裁玄関口にて

さん(現長和町町長)が務めている。一方、31期の故矢島五郎先輩が初



2020年1月赤坂での親睦会

代会長として発足し、一時は途絶えた「関東陸文会」は数年前に再スタートした。こちらの会長は同じく63期のハードルで活躍し、元国際武道大学学長を務められた成澤三雄さんが就任中。

関東では年1〜2回赤坂で親睦会を開催。現役生の活躍や総会の報告などに加え、上田からの出席者や現役会員を含めた夫々の分野間の交流を図る場としても活用されている。

現役OB・OGの班員はそれぞれに在籍しているが、60期、70期中心の運営になりがちで、今後は80期、90期、100期などの若い世代に如何に繋げるかが大きな課題となっている。関東同窓会に会員として在籍している陸上班出身

者が、「関東陸文会」に参加していただけることを大いに期待している。

事務局80期佐藤宏治さん(090-9074-9858)や、副会長兼関東事務局64期山崎(080-6532-1620)宛にご連絡頂くか、卒業年度の近い仲間間で連絡を取り合っ

て、是非陸文会の仲間に加わって頂きたく願っている。

東京同窓連・事務局長 体験記 倉沢 裕(69期)

東京同窓連は長野県各高校の東京地区同窓会連合会で、同窓会の相互交流や長野県や母校への貢献をねらいとして55年前に創立され、現在の加盟同窓会は47校、信地区は15校が加盟しています。また、このような組織は日本の中でも長野県だけと聞いております。2016年より4年間事務局長を務めました。上田高校からは00年〜03年の故山崎延秋氏(48期)に続いて2人目となります。総会と新年会を中心に理事会、役員会等の運営が主な役割です。どの同窓会も会員の高齢化や若手会員の同窓会離れが最大の課題でよく話題



会員短信

総会の議決はがきより

37期 岡 清助

前回総会盛大敢行会長以下の尽力に感謝感謝大いなる誇り。

49期 堀内 寅次

いつも会報を頂き感謝申しあげます。私も88歳を過ぎましたが元気でやっております。

49期 大石 和夫

49期(昭和7年生れ)は今年米寿です。おめでとう！

50期 宮本 嘉興

私こと、本年5月米寿を迎えました。新型コロナによるパンデミック

になりましたが、成功事例はないようです。会報については約半数の同窓会が発行していますが、年

2回発行は上田高校だけなので、発行体制や費用捻出方法などについてよく聞かれました。総会や新年会はオープンな会合ですので、

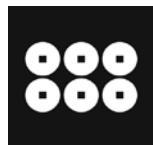
気軽にご参加いただき他同窓会との情報交換の場として活用

いただければと思います。

2019年2月の東京同窓連新年会にて 特別ゲストの御嶽海関と倉沢さん



2019年2月の東京同窓連新年会にて 特別ゲストの御嶽海関と倉沢さん



を 会 社 同 窓 会 文 東 陸 文 会 陸 関 東

★陸文会とは上田高校陸上班OB、OGの親睦会です
★OB、OGの皆様、ご連絡をお待ちします
会 長：羽田健一郎 (63期)
事務局：佐藤宏治 (80期) 090-9974-9858
関東会長：成澤三雄 (63期)
関東事務局：山崎一郎 (64期) 080-6532-1626


54期 田中 嘉親

4年前に病院長をやめ、医師会病院に移り検診の仕事をしていました。病気の予防はなかなかむずかしいと実感しています。

56期 成田 邦夫

昨年7月満80歳(傘寿)を迎え役員も退く事にしました。大変充実した機会でした。上田(松尾)高校のますますの発展を祈ります。

58期 青木 淳

昨年会社を閉鎖し自由人になりました。今後とも宜しくお願いいたします。*2020年5月1日で79才の高齢者です。

59期 柳澤 建夫

埼玉県省エネナビゲーターとして活動し、温暖化対策に微力を尽して過ごしています。

60期 清水 敏弘

新型コロナウイルスは怖いですが、緊急事態宣言が解除されませんが、在宅中心の生活です。

60期 福嶋 宣

上原会長3年間ご苦労様でした。私も体力が許す限り、総会、ゴルフ等参加させて頂きます。

61期 井上 剛

信州と鎌倉を行ったり来たりしています。毎月書いている家庭教育と子供向けの時事記事がこの夏で連載85回になりました。

61期 大澤 義隆

創立120年を迎える母校の今後の文武の一層の向上を祈ります。

62期 岩井 重一

新型コロナウイルスの感染拡大により、大変厳しい社会、経済状況となっておりませんが、何とかコロナとの闘いを乗り越え、安定した生活、活動に戻りたいですね。

65期 上原 昇

この3年間は、多くの諸先輩、同期、後輩たちの協力で支えられ活動してまいりました。総会でのパトナツチは叶いませませんが次に禱をつなぎます。執行部を代表して会員の皆さまに感謝申し上げます。

65期 山極 時生

古稀を過ぎましたが3日/週にて継続勤務中です。(日立製作所工ネルギー部門)

65期 滝川 幸子

コロナの影響で、ボランティア活動も中止になっています。ようやく6月よりたんぼぼ文庫の活動を再開しました。価値観や生活様式が変わりますね。

66期 清水 通男

システム技研(株)の代表取締役を退任し顧問に就任しました。

69期 清水 龍夫

69期の皆さんの活躍に感謝しています。私は別の団体の事務局を担当

寄付者/寄付グループ

(2020年4月1日~2020年9月30日)

ご協力ありがとうございました!

期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額
44-4	中村 司	2,000	51	蒲生卓磨	10,000	55	和田 守	2,000	62	田島善光	3,000
46	清水巻郎	2,000	51	中山隆雄	2,000	56	笹沢政道	2,000	64	村居次雄	5,000
46	長谷川 潔	2,000	51	保坂利勝	2,000	56	勝野裕夫	12,000	64	竹中 司	1,000
47	三浦嘉治	4,000	52	関 正利	2,000	56	神津 進	2,000	65	上原 昇	8,000
47	飯田久夫	5,000	52	小林孝典	5,000	56	柳澤安信	2,000	66	清水通男	3,000
49	小林恒雄	2,000	52	武半正一	2,000	57	榎本金二	2,000	66	竹内豊和	10,000
49	翠川 輝	2,000	53	懸川文夫	3,000	57	高木佳年	3,000	66	田口 博	8,000
49	大石和夫	3,000	53	小林昭美	10,000	57	山崎逸雄	4,000	69	池田有美子	6,000
49	滝澤脩三	5,000	53	尾崎俊朗	10,000	57	馬場健一	5,000	74	林 幸平	2,000
49	田中達夫	2,000	54	黒川次郎	2,000	58	桜井兼三	6,000	77	関 和彦	10,000
50	小山洋之介	5,000	54	土屋勝俊	2,000	59	有賀勝雄	10,000	81	児玉睦美	10,000
51	掛川國雄	2,000	54	馬場武彦	2,000	61	笠井徳爾	10,000	81	毛利元晶	5,000
						62	秋田 勇	4,000		合計	223,000

司法書士事務所
リーガルオフィス白金
〒108-0072 東京都港区白金1-25-13
〒108-0072 東京都港区白金4-0-2
TEL 03-62277-3413
FAX 03-62277-0608
司法書士 飯田 茂幸(90期)

有限会社カニエ薬局
取締役 蟹江由美子
(69期)
〒370-0517
群馬県邑楽郡大泉町
西小泉1-25-1
カニエ薬局志部店
電話 0276-62-4455
FAX 0276-62-4455

ことぶき法律事務所
弁護士 林 幸平 (74期)
東京都新宿区新宿2-19-13
坂菅第一ビル8F 〒160-0022
TEL 03 3226 0260
FAX 03 3226 0290
URL <http://www.kotobuki-law.com>



当しており、お手伝いできず申し訳ありません。

同窓生の皆さんへ、何かエールが送れるといいですね。

72期 福田 礼子
Web会議ばかり続く中、皆様とリアルにお目にかかれる日を楽しみにしております。今まで以上に。

80期 久保山 和彦
日本体育大学保健医療学部教授としております。

74期 柳沢 香枝
昨年末に在マラウイ大使の任務を終え帰国、退任しました。

81期 毛利 元晶
皆様何卒健康にご留意くださいませ。またお会いできる事を楽しみにしております。

75期 一之瀬 康利
60才を機に転職しました。勤務地は秋葉原です。

88期 田中 亜友美
今春上田へUターンいたしました。総会で諸先輩方、同級生、後輩と交流できました事、とても良い思い出となりました。

79期 井出 浩一
医師、看護師など、特にコロナ対応の第一線で頑張ってください

103期 大谷 真宙
愛する、ふるさと上田市の再活性化に取り組みます。

村田寛さん(51期)を偲ぶ 上原隆雄(51期)



昨年4月17日逝去された村田寛さんの追悼を……私には役不足ながら、生き残りの同期として「巨星」の業績を偲びたい。

上田出身の松平忠久代議士の秘書を務め、政治・海外にも精通しいよいよ後任に……と言う時に、社会党系が左派に代わり出馬を断念する不運？ に遭遇しました。それが村田さんは違いました。彼は培った人脈を生かし、

も現地参加されました。以降、幅広く参加者を募り家族同伴で中国各地はじめ、世界各地に良く旅行しました。

世間が新型コロナウイルスで大変な状況ですが皆様のご健康をお祈り申し上げます。

母校創立120周年記念 同窓生メッセージ

道のないところに道を作ってきた母校120年の歴史。皆様に感謝です。「人として生き生きと生きること、人間は素敵な存在なんだ」と伝え続けてきたさくら国際の歴史。教育の持つ役割はギョツとするほど深いと感じます。

荒井裕司(64期)

竹下上田市長就任と共に、上田を愛する仲間作りを進め「東京上田会」設立への強力な推進役になりました。専務理事として、会報作成などの事務作業も約10年近くお一人でこなし、市と中央官庁を繋ぐ大事な役割を担いました。

ここ数年は、日本の伝統文化「祭り」は「政治・思想・世代を超えて世界に理解される最高の表現」として取り組んでいました。結果として、最後に「日本祭礼文化の会」理事長として手掛けた東京オリピック協賛「日本のまつり絵展」前に倒れたことはご本人も心残りだった想いつつ、改めて心よりご冥福をお祈り申し上げます。

訃報 心よりお悔やみ申し上げます

期	氏名	死亡年月日	期	氏名	死亡年月日	期	氏名	死亡年月日	期	氏名	死亡年月日
40	兄玉 安彦	2018年4月8日	53	山崎 達夫	2019年6月13日	54	香掛 文哉	2020年10月18日	60	久保 柳哉	2020年4月30日
40	佐藤 麟也	2020年4月5日	53	寺田 明彦	2019年9月29日	55	飯島慶三郎	2020年4月17日	62	薄井 秀一	2020年3月2日
48	富田 幸正	2020年2月23日	53	山岸 一夫	2020年1月30日	57	滝沢 浄	2019年12月31日	63	林 壮治	2020年5月21日
48	中村 哲治	2020年3月2日	53	増田 隅雄	2020年4月24日	57	田村 義昭	2020年2月29日	64	戴原 和男	2019年12月28日
49	小澤 泰衛	2019年3月17日	53	掛川 一彦	2020年10月13日	57	青木 秀昭	2020年3月	68	古川 淳次	2018年1月27日
50	柳沢 洋一	2019年11月4日	54	滋野 三樹	2019年7月30日	58	森 邦夫	2019年3月9日	80	鈴木 達夫	2020年9月
50	金井 昭夫	2020年4月2日	54	横沢 武典	2020年2月20日	60	山本 哲之	2019年12月11日	89	住吉 裕美	2017年9月14日
51	村田 寛	2020年4月17日	54	小市 則夫	2020年10月5日	60	塩川 英世	2020年4月6日			

編集後記

江戸時代末期の安政5年(1858)、コレラが江戸で大流行した。江戸での死者は約30万人という。その後明治時代に入ってもコレラは流行を繰り返す。国内年間の死者が10万人を超える年もあった。(立川談慶師匠、著書「安政5年、江戸パンデミック。」より)

▼当時はワクチンや特効薬もなく、予防法としては換気をして清潔にすること位しかなかったようだ。新型コロナウイルス感染で世界中が苦しむ現在は、ワクチン・特効薬の開発が急ピッチで進んでいる。感染の終息と共に、それらが1日も早く世界中の人々に行き渡る事を望むばかりだ。▼当初は緊急避難的に始まったテレワークやリモート会議は、その利便性が認識されて今後「withコロナの時代」に定着しそうだ。他にも「新しい生活様式」が次々と生まれていて、我々はその対応に迫られている。▼今回の会報編集を通じて印象深かったのは、母校現役生から頂いた原稿だった。コロナ禍でかけがえの無い学校生活の一部を失う中でも前向きに頑張っている彼らの姿には目頭が熱くなった。今号は、それらのページにもじっくり目を通していただきたい。(萩原貴)



30年勤続後、脱サラして作家デビュー

和田剛浩(ペンネーム：酒本歩)さん(78期)



ペンネームの由来は、趣味が「お酒・読書・歩くこと」と語る和田さん

私は、とにかく小学生の頃から読書が大好きで、それが高じて会社員になってからは作家になりたいという夢を持ち続けて、40代の頃から幾つも作品を応募していた。しかし、勤めながらではなかなかしっかりした作品が書けなくて、勤続30年を区切りに思い切って作家の道を選んだ。

脱サラして2年目に応募した地元葛飾区の「かつしか文学賞」(エンタメ小説)で優秀賞を受賞したら、上田高校時代の友人数名がお祝いしてくれ、とても勇気づけられて、一層やる気になった。

そして翌年、大好きなミステリーの大御所である島田荘司先生に読んでもらいたくて「島田荘司選 第11回ばらのまち福山ミステリー文学新人賞」に応募して、新人賞を受賞することができ、作家としての本格デビューとなった。

それが『幻の彼女』。光文社からの出版には、当時の編集長と編集担当者が二

人とも読後に泣いてくれて、「是非出版したい」と推薦してくださったという裏話がある。また、島田先生からは映画化の薦めもあったが、残念ながらまだ実現していない。受賞後に東京在住の高校時代の同級生(7組)が10名ほど集まってお祝いしてくれたことは今でも忘れられない。最近、韓国語版に続き、中国語版も出版が決定した。

その次が、同じくミステリー小説で『幻のオリンピック』。こちらは2020年東京オリンピックを楽しく観戦できるように書いた小説なので、是非お読みください。ちなみに主人公が通う学校は「都立田上(たがみ)高校」です!

小説を書く上では、読者が「読みやすい」ことが重要だと考えていて、「リズムカルにテンポ良く」を心がけている。文体の参考にさせてもらったのは、池井戸潤の「下町ロケット」。今後はミステリーと並行してエンターテインメント小説も書いて行く予定。人情ものや貧乏学生の旅行物語、ほか構想はたくさんある。是非今後の作品にも期待していただきたい。

小説家としての一日は、朝5時頃起きて、少し書いてから近所の荒川土手を散歩し、その後も昼間ずっと書き続けて夕方4時頃には切り上げる。これを毎日繰り返している。書いている間はずっとクラシックをBGMに流している。

高校時代の思い出は、ちょうど旧校舎の建て替えの時期で、校舎が倒れないようにお堀の淵から支え棒で支えられていたことが印象に残っている。誰かが染谷丘高校の校札を拝借してきて問題になったこと、逆に上田高校の門札が何者かに持ち去られたこと、他校の生徒が替え玉

で授業に出席して先生にバレて大問題になったこと等々、青春時代の思い出が次々と蘇る。

受賞をきっかけに同期が集まってお祝いしてくれたり、地元の総会に招待されて多くの皆様に応援していただいたことでとても勇気づけられました。これを機会に今後も皆様との出会いを大切にしたいと思っておりますのでよろしくお祈りします。(インタビュー取材：2020.9.21 新橋駅前の貸会議室にて)

〈プロフィール〉

1961年、坂城町生まれ。坂城中学校、上田高校、早稲田大学政経学部卒。1984年、(株)リクルート入社。2015年、勤続30年を機にサラリーマンをリタイアして執筆活動を開始。2017年、『葛飾弁当店の奮闘』(エンタメ小説)で地元葛飾区の「かつしか文学賞」優秀賞を受賞。2018年、『幻の彼女』(応募時『さよならをもう一度』)で「島田荘司選 第11回ばらのまち福山ミステリー文学新人賞」受賞。2019年、『幻の彼女』を光文社から出版し、作家デビュー。2020年、『幻のオリンピック』を光文社から出版。

【幻のオリンピック】
(光文社・1,700円+税)

東京オリンピックに夢を見る人、救われる人、絶望する人……五輪出場に人生を懸けた体操選手に向けられる愛と憎悪。今、運命の跳馬がスタートする。驚愕の結末が待ち受ける青春ミステリー!



住所変更があったらご連絡ください

①同期の代表幹事へ または ②関雄二会計長(72期)へ
メール：yujiseki@hotmail.co.jp
携帯：080-5035-5204

ホームページをご活用下さい

関東同窓会のホームページ (<http://uedakant.sakura.ne.jp/>) には毎日たくさんのアクセスがあります。IT推進委員会経由で関東同窓会の活動や会員の動向などの頻度の高い情報発信を心掛けています。ぜひご活用ください。

